

塩竈ヴェネツィア計画（海・港を生かした塩竈再生物語）

1. 応募団体名	宮城県塩竈市 担当：産業部港湾開発課 神谷 統 " 鈴木 康則 連絡先： 022-364-1166 mail kamiya-h@city.shiogama.miyagi.jp suzuki-ys@city.shiogama.miyagi.jp
2. 調査名	塩竈ヴェネツィア計画(海・みなとを生かした塩竈再生物語)
3. 推薦団体名	* 推薦団体名、担当者の氏名、担当者の連絡先
4. 調査の対象地域	
(1) 対象となる行政区域名、地区名等	塩竈市(宮城県) 塩釜港港奥部地区
(2) 対象となる行政区域及び地区の特徴	塩竈市人口 約6.1万人 対象地区：塩釜港港奥部(塩竈市の歴史、産業、生活の中心となっている区域で、商業、港湾関連産業の集中している区域)
5. 提案した活動の内容	
(1) テーマ、課題	塩釜港は、歴史ある天然の良港で、商港、漁港、観光港の3つの機能を持ち、市街地に囲まれ市民生活と密着している。 本調査は、塩釜港とその周辺市街地を対象とし、水の都イタリアのヴェネツィアの名を借り、市民とともに海との緊密性を高めたまちづくりを進めることをテーマとする。
(2) 本調査費による活動内容の概要	本調査費により行なわれた活動内容の概要 1. 市民団体等との意見交換の実施 ・ 主な市民団体(9団体)と意見交換会を開催 ・ 「提言書」の提出依頼、ワークショップ開催を含め、計23回開催   (仮称)老舗の会でのワークショップ実施状況

## 2. ワークショップの実施

- ・ 意見交換会のうち、市民団体 2 団体について、意見とりまとめのためのワークショップを開催
- ・ 両団体 1 回、計 2 回開催

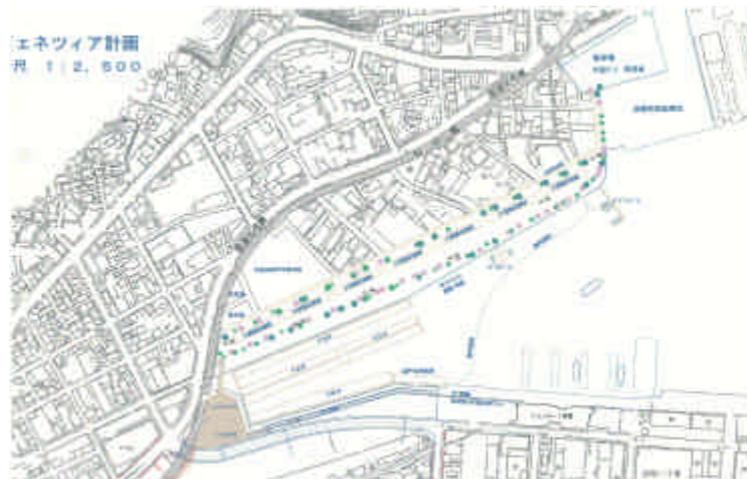
## 3. 報告書とりまとめのための全体会議の開催

- ・ 主な市民団体の参画により、本調査の報告書内容確認のための全体会議開催
- ・ 計 1 回開催

## 4. 「提言書」の取得

- ・ 市民団体 8 団体からまちづくりにかかわる「提言書」を取得

市民団体からの提言書の一例



## 5. 市民アンケート調査、中学生アンケート調査の実施

- ・ 塩竈市民を対象に 1,000 票配布、回収票 367 票(回収率 36.7%)
- ・ 市内中学校 5 校で実施、回収票 202 票

## 6. 塩竈ヴェネツィア計画ニュースの発行

- ・ 市民団体からの提言内容や、塩竈のまちづくり要素の紹介を含め、10 号まで市ホームページ上に掲載



塩竈ヴェネツィア計画ニュース(1号)

## 7. パネル展示イベントの開催

- ・塩竈ヴェネツィア計画ニュース、本計画内容のパネル展示を実施（平成16年2月～3月）



パネル展示の状況

本調査費以外の財源を投じ、本調査の一環として行なった活動内容の概要

1. 「海と港とまちづくりフォーラム」(塩釜港整備促進期成同盟会主催)を開催し、海と本地域の関わりについて市民と共に考え、今後のまちづくりを模索した。  
(平成15年11月)



フォーラムでのパネルディスカッションの様子

	<p>2. 「全国のみなとまちづくり事例に係る意見交換会」(本市主催)を開催し、本調査の意見を聞いている団体の代表と港湾局民間活力推進室長が意見交換を行い、みなとまちづくりについての理解を深めた。 (平成16年2月)</p> <p>3. 「I LOVE SHIOGANA」と題し、本市出身の写真家平間至氏の講演会(東北地方整備局塩釜港湾空港整備事務所主催)を開催し、東京からみた本市の魅力を語って頂いた。(平成16年3月)</p>
<p>6. 本調査と関連する活動実績</p>	<p>1. 「`港の灯`再生実行委員会による「港のライトアップ」 (15年12月~16年2月)</p>  <p>造船所クレーンのライトアップ状況</p> <p>2. 塩釜商工会議所による「塩釜未来絵図」作成 (16年1月~3月)</p> <p>3. 「NPO みなと しほがま」の設立 (16年3月)</p>
<p>7. 本調査の成果等、本調査の実施課程で顕在化した課題など</p>	<p>本調査成果として以下の成果が得られた。</p> <p>全国に誇れるまちづくり資源(お宝)の再認識 市民団体等による積極的な取り組みを発見、紹介 市民による新しい動きの芽生え 市と市民の役割分担の確認 自ら考え、行動する魅力づくり活動の継続について確認</p>